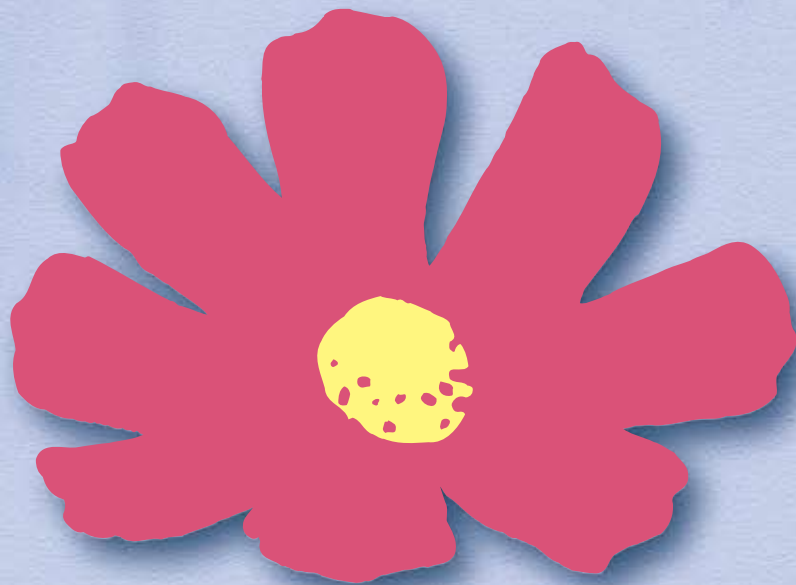




平成21年3月期

ミニ・ディスクロージャー誌

目次

ごあいさつ	2
企業理念・経営方針	3
営業の概況	4
地域コーナー	9
CSR の取組み	11
トピックス	17



ごあいさつ



皆さまには、平素より千葉興業銀行をお引き立て賜り、誠にありがとうございます。
このたび、頭取に就任いたしました青柳でございます。就任初年度が、新しい
中期経営ビジョン〈Change & Challenge 21〉のスタートの年となりました。
中期経営ビジョンの成功に向けて、若さとバイタリティーを生かし、リーダーシップ
を発揮してまいります。また、盤石な営業基盤・強固な収益体質の確立を最優先
課題と考え、当行グループの総力を結集して業務に邁進する所存です。

平成20年度の当行の経営内容や業績、CSRの取組み等につきまして、
皆さまにご理解いただけますよう、ミニ・ディスクロージャー誌にまとめました。
ご参考にしていただければ幸いに存じます。

今後とも、より一層のご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

平成21年6月

取締役頭取・CEO 青柳俊一

当行の概要 (平成21年3月31日現在)

設 立：昭和27年1月
本 店：千葉市美浜区幸町二丁目1番2号
資 本 金：579億4,189万3,949円
従 業 員 数：1,242人



[ちば興銀は、次世代認定マークを取得しています。]

企業理念・経営方針

企業理念

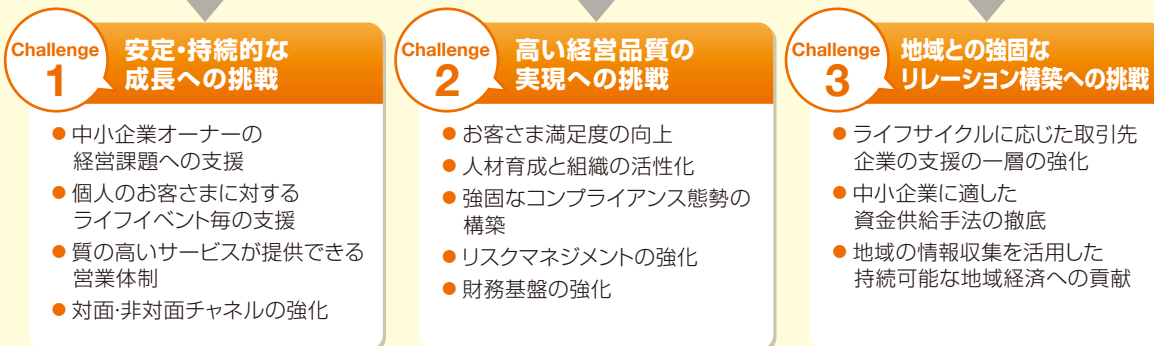
- 地域とともに** 私たちは、地域とともに歩む銀行として、人々の幸せを求めて、豊かなふるさとづくりに努めます。
- お客さまのために** 私たちは、積極的にお客さまのニーズに応え、創造性を発揮し、より質の高いサービスの提供に努めます。
- 「親切」の心で** 私たちは、心のふれあいを大切にし、自己を磨き、親切ナンバーワンをめざします。

経営方針

平成21年度、平成22年度の2ヵ年におきましては、新中期経営ビジョン『Change & Challenge21』に基づき、《Challenge 1:安定・持続的な成長への挑戦》《Challenge 2:高い経営品質の実現への挑戦》《Challenge 3:地域との強固なリレーション構築への挑戦》の3つの経営課題に取り組んでまいります。今年は、この取り組みのスタートとなる重要な年となります。全行員・スタッフが一丸となって業務に邁進し、『お客さまのMy Bank』を目指してまいります。

◆新中期経営ビジョン(Change & Challenge 21)

目指す姿:『お客さまのMy Bank』…お客さまにMy Bankとして選んでいただくために



営業の概況

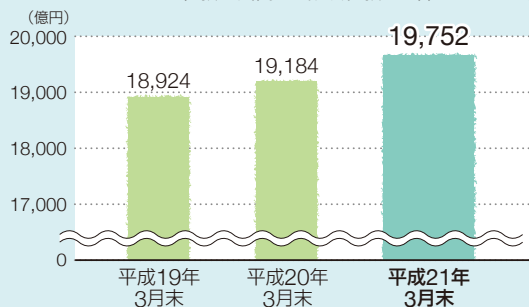
グラフ等に記載の計数および解説文中の計数は単位未満切捨て表示となっております。

預金・貸出金等の状況 ～ 預金・貸金は堅調に推移～

総預金の当期末残高は、平成20年3月末比568億円増加し1兆9,752億円となりました。特に個人預金については、退職金をお預入の対象とした特別金利定期預金「ハッピーステージ」やスクラッチくじにより適用金利が決まる「くじ付定期預金 ラッキースクラッチ」がご好評いただき、平成20年3月末比344億円の増加となりました。

投資信託の預資産残高は、株価下落の影響等により平成20年3月末比、402億円の減少となりました。

●総預金残高 ※総預金残高には譲渡性預金を含めております。

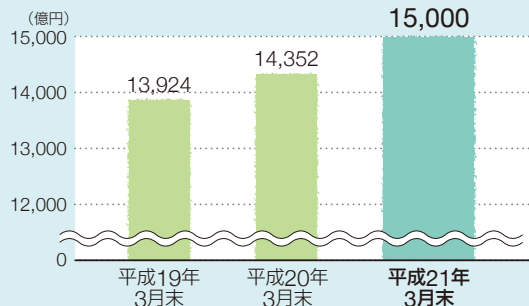


●投資信託残高

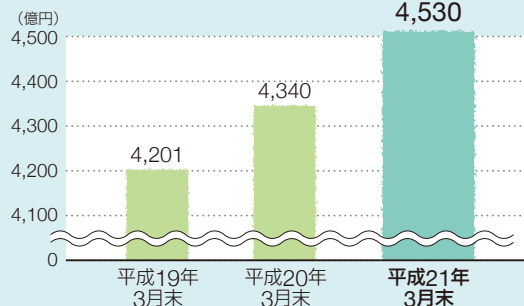


当期末の貸出金残高は、既存貸出先への資金ニーズ対応、新規貸出先増強等に努めた結果、平成20年3月末比648億円増加し1兆5,000億円、年間伸率4.5%となりました。また、住宅ローンについては、販売体制強化による顧客層の拡大に努めたほか、相談会開催等によりお客さまの借換えニーズへの積極的な取組みも図ったことにより、住宅ローン残高は4,530億円と平成20年3月末比189億円の増加となりました。

●総貸出金残高



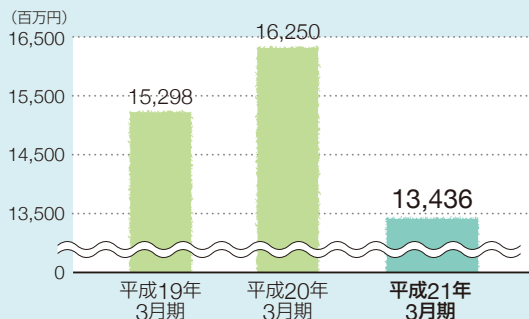
●住宅ローン残高



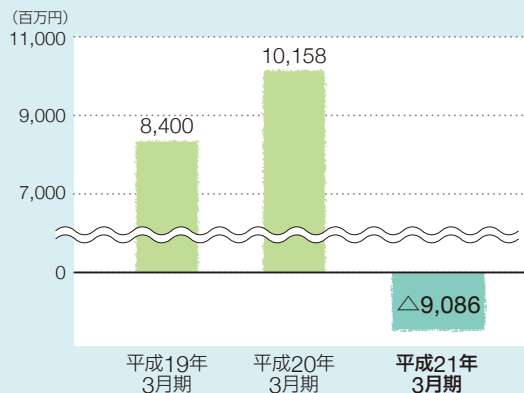
損益の状況

貸出金は堅調に推移し、貸出金利息は増加しましたが、金融市場の変動等の影響による有価証券利息配当金の減少や投資信託販売の減少等により、コア業務純益は、平成20年3月末比28億14百万円減少しました。また、株式相場の急落に伴う有価証券の減損処理154億86百万円の計上を主要因に、経常利益は、平成20年3月末比192億44百万円減少し、90億86百万円の経常損失となりました。当期純利益は平成20年3月末比184億39百万円減少し86億83百万円の当期純損失となりました。

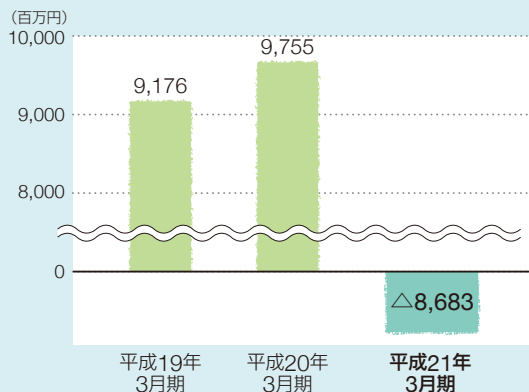
●コア業務純益



●経常利益



●当期純利益



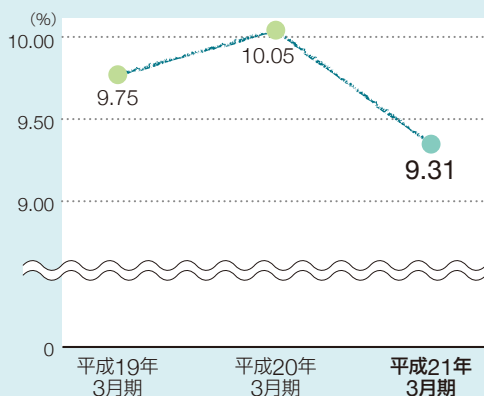
※コア業務純益
業務純益から一般貸倒引当金繰入額、国債等債券関係損益を除いて算出しています。

自己資本比率等

銀行経営の健全性をみるうえで大切な指標である自己資本比率は、当期末においても国内基準の4%を上回る9.31%となっております。

また、経営の効率性を示す経営指標である修正OHR(※)は、業務粗利益の減少を主要因に64.49%と前期比4.84ポイントの上昇となりました。また、収益性の高さを示すROA(※)は、コア業務純益の減少により0.64%と前期に比べて0.15ポイント低下いたしました。

●自己資本比率



●自己資本比率算定明細表

(単位:%・百万円)

	平成20年3月末	平成21年3月末
1. 自己資本比率	10.05	9.31
2. 基本的項目	115,470	110,150
3. 補完的項目	12,268	10,769
(イ)うち自己資本に計上された再評価差額	—	—
(ロ)うち劣後ローン残高	7,500	6,340
4. 控除項目	76	154
5. 自己資本 2+3-4	127,662	120,765
6. リスクアセット	1,269,148	1,297,025
うちオンバランス	1,149,556	1,185,682
うちオフバランス	45,316	37,554
うちオペレーショナルリスク	74,275	73,787

※修正OHR(経費対修正業務粗利益率=経費÷業務粗利益(除く国債等関係損益)×100)

一定の業務粗利益を得るために、どの程度経費がかかっているかを表わす指標で、値が小さいほど経営の「効率」の高さを示しています。

※ROA《コア業務純益ベース》(総資産利益率=コア業務純益÷総資産期中平残(除く支払承諾見返)×100)

投下された総資産が利益(コア業務純益)を得るために、どの程度効率的に利用されているかを表わす指標で、値が大きいほど経営の「収益性」の高さを示しています。

■ 経営改善支援の取組み等

「地域経済・地域社会発展への貢献」を経営課題の一つに掲げる当行は、地元企業の経営課題解決支援に取組み、お取引先企業の経営改善を積極的に支援することを通じて、健全企業に再生できるよう注力してまいりました。

経営改善支援が必要なお取引先企業を「経営改善支援先」として選定し、経営改善計画策定支援・経営指導等に取り組んだ結果、「経営改善支援先」に対する債務者区分のランクアップ率は20.1%となりました。また、経営改善計画策定先は平成19年度からの2年間で42先となりました。事業再生支援につきましては、中小企業再生支援協議会支援決定先の再生計画策定支援等に取り組み、平成19年度からの2年間累計の事業再生支援取組み先は6先となりました。

このような取組みを実施したことなどから、正常債権を除いた金融再生法における「開示債権額」は、平成20年3月末比64億87百万円減少し、534億円となりました。また、開示債権額が総与信に占める割合（開示債権比率）は平成20年3月末比0.59ポイント改善し3.44%となりました。

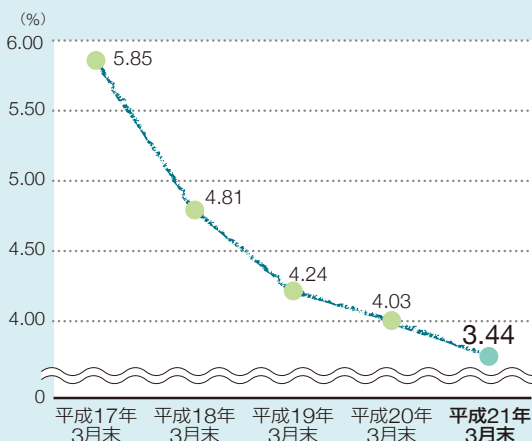
◎平成19年度～20年度「地域密着型金融の恒久的な取組み」数値目標の進捗状況

経営改善支援等の取組み項目	平成19年4月～平成21年3月		達成率
	数値目標	実績	
経営改善支援先に対する経営改善計画策定先数	20先以上	42先	210%
経営改善支援先に対する債務者区分ランクアップ率(注1)	20%	20.1%	100%
事業再生に向けた取組み先数(注2)	10先以上	6先	60%

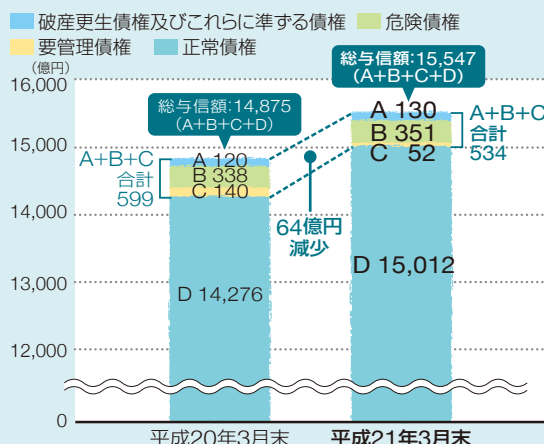
(注1) 経営改善先に対する債務者区分ランクアップ率は、平成19年度下期に選定先の見直しを実施したため、平成19年度下期から平成20年度下期までのランクアップ率を計上しております(平成20年度下期選定先274先(正常先除く)に対し累計で55先の債務者区分がランクアップ致しました)。

(注2) 中小企業再生支援協議会支援決定、千葉県中小企業再生ファンド活用、DES・DDSの活用、再生企業に対するエグジットファイナンス実行等の先数。

◎金融再生法に基づく開示債権比率



◎金融再生法に基づく開示債権額比較



❖ 営業店設備等の充実

当行は、CS（お客さま満足度）向上とCSR（企業の社会的責任）の取組みの一環として、障がいのあるお客さまやご高齢のお客さまに配慮した取組みを促進し、お客さまの利便性向上を目指しております。

平成20年度においては、聴覚障がいのあるお客さま・ご高齢のお客さま・外国人のお客さまとのコミュニケーションツールである「コミュニケーションシート」、「筆談器」、「助聴器」の全店設置を完了いたしました。また、お体のご不自由なお客さまやご高齢のお客さまにご利用いただける「杖ホルダー」についてもほぼ全店に設置完了いたしました。このほか、視覚障がいのあるお客さま、ご高齢のお客さまに対応する「新型受付番号表示機」や「視覚障がい者対応ATM」については今後、設置店舗を拡大し、お客さまの利便性向上に努めてまいります。

❖ 格付け

当行は、中立的な第三者による評価を取得し公表することで、投資家の皆さまやお取引先の皆さまに財務内容の健全性や収益性などについてご理解いただくため、平成18年10月に株式会社日本格付研究所（JCR）から長期優先債務（※）格付けを取得いたしました。平成20年11月に見直しを行い以下のとおりとなっております。

格 付 け 「BBB（トリプルBフラット）」【据え置き】

格付け見通し 「ポジティブ」【据え置き】

（格付けの公表）：平成20年11月17日

※長期優先債務：格付対象会社の債務全体を包括的に捉え、その債務履行能力を評価したものです。

❖ 利益配分に関する基本方針等

当行は、銀行業としての公共性に鑑み、健全経営を確保するため内部留保の充実を図るとともに、安定的な配当に努めていくことを基本方針としております。しかしながら、当期は、金融危機の影響による金融市場の変動等により、有価証券評価損（減損損失）の増大を主因に損失計上となりました。したがって、当期の剰余金の配当につきましては、以下のとおりとさせていただきます。

優先株式の配当 当期の優先株式の配当につきましては、所定の配当をいたします。

普通株式の配当 当期の普通株式の配当につきましては、見送らせていただくことといたしました。普通株式の株主の皆さまには、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

地域コーナー

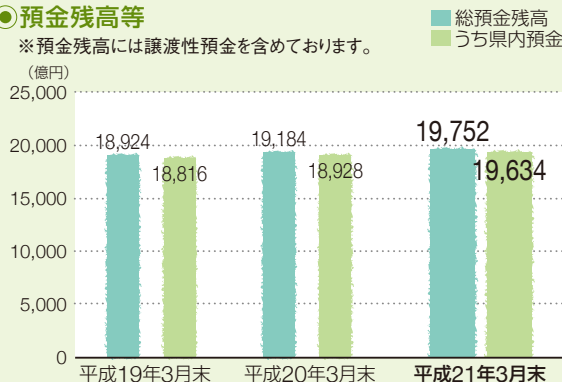
地域のお客さまとのお取引の状況

当行の預金の大半は地域のお客さまからお預りしております。
そして、地域のお客さまからお預りした大切な預金の大半を県内の
企業や個人のお客さまへの貸出に向けております。
また、平成21年3月末の県内保証協会保証付貸出金は10,845
件の1,262億円となっております。

(注) 当行は主要な営業地域を千葉県内として
おりますので、千葉県内の営業店舗の
合計計数を「県内」計数として表示して
おります。

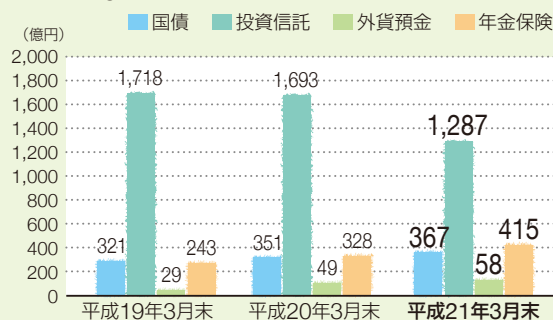
●預金残高等

※預金残高には譲渡性預金を含めております。

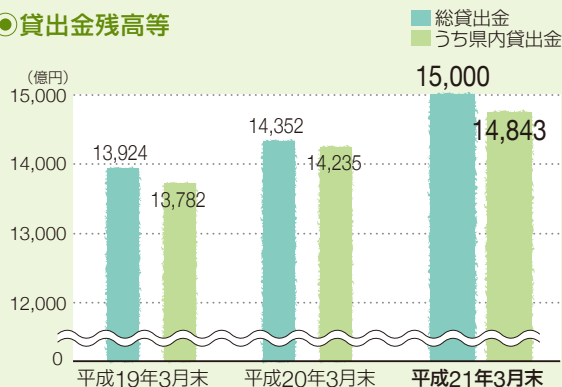


●預り資産残高

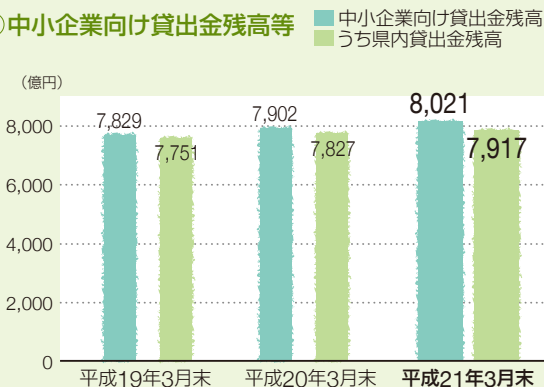
平成21年3月末の預り資産の大半が県内での預り資産です。



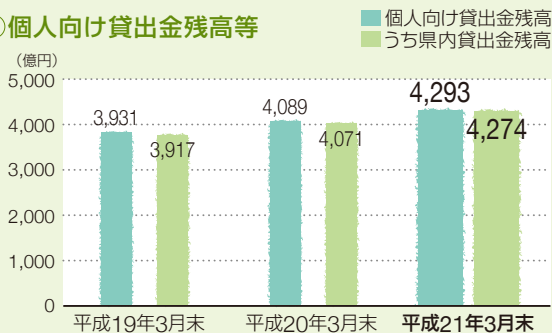
●貸出金残高等



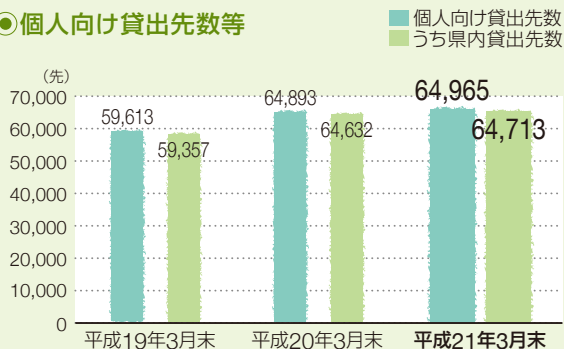
●中小企業向け貸出金残高等



●個人向け貸出金残高等

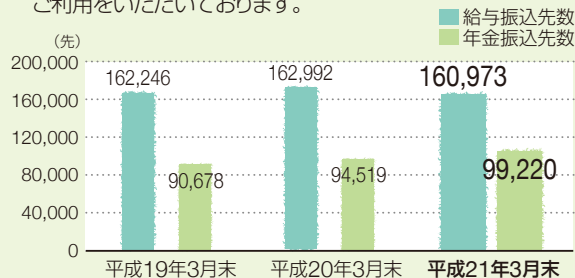


●個人向け貸出先数等



●給与振込・年金振込の口座数

給与振込や年金振込などについても、たくさんのお客さまのご利用をいただいております。



●業務別貸出金残高

当行は、それぞれの業種において、資金供給者として重要な役割を担っています。

(単位:億円)

平成21年3月末	貸出金残高	うち県内向け
製 造 業	1,536	1,497
農 業	46	46
林 業	0	0
漁 業	0	0
鉱 業	26	26
建 設 業	903	893
電気・ガス・熱供給・水道業	81	81
情 報 通 信 業	48	47
運 輸 業	446	437
卸 売 ・ 小 売 業	1,919	1,887
金 融 ・ 保 険 業	631	629
不 動 産 業	2,683	2,655
各 種 サ ー ビ ス 業	2,091	2,072
地 方 公 共 団 体	250	250
そ の 他	4,334	4,315
合 計	15,000	14,843

CSRの取組み～地域社会・地域経済への貢献～

すべてのお客さまにやさしい店舗づくり

●平成20年6月より

聴覚障がいのお客さまや外国人のお客さまが、ボードの絵文字を指すだけで意思表示を可能とするために「全国銀行協会コミュニケーション支援用絵記号デザイン」を利用して作成した「コミュニケーションボード(呼称:コミュニケーションシート)」を全営業店等に設置しました。



●平成20年11月より

お体のご不自由なお客さまやご高齢のお客さまの利便性向上を目指し、窓口等で書類などを記入される時に杖が倒れないよう、杖を固定するホルダーとして便利に利用できる「杖ホルダー(商品名:つえつえほ～)」をATMコーナーや店頭カウンター等に設置しました。



●平成21年2月より

視覚障がいのお客さまやご高齢のお客さまなど多様な色覚をもつ様々な方に配慮した見やすい配色(ダークブルー地に白文字表示のカラーユニバーサルデザイン)を採用した「新型受付番号表示機」を東京支店に設置しました。番号表示部分が現行の2インチから4インチへ大きくなり、かつ表示文字も大きくなったため、見やすくなっています。表示機の更改、店舗の改装に合わせて各店に順次設置していく予定です。



地球にやさしい銀行を目指して

地球温暖化防止の国民運動である「チーム・マイナス6%」への参加などを通し、事業活動における環境負荷軽減に向けた取組みを行っています。

●「クール・ビズ」導入

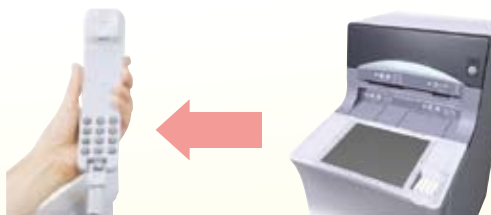
夏季(21年6月～9月)の冷房温度を控えめにし(室内温度を原則28度)、全行員・スタッフを対象として夏の軽装「クール・ビズ」を始めています。

●「クール・カーペット」導入

当行では、環境にやさしい店舗づくりを目指しています。1月に移転開店した東京支店は、クール・カーペット(インター・フェイス社)を205㎡使用したことにより、3tもの二酸化炭素を吸収する木を育てるカーボン・オフセットの認証を受けています。

●平成21年2月より

視覚障がいのお客さまでも操作が可能な「視覚障がい者対応ATM」を設置しました。お預入れ、お引き出し、残高照会、通帳記入のお取引でご利用でき、ATM付属のハンドセット（受話器）から流れる操作誘導の音声ガイダンスに従い、ハンドセットについたテンキーボタンにて操作します。今後、順次各店に設置していく予定です。



●平成21年3月より

聴力の補助が必要なお客さまやご高齢のお客さまに配慮したコミュニケーションツールとして「筆談器」「助聴器」を全店に設置しました。

筆談器は、聴力の補助が必要なお客さまやご高齢のお客さまが窓口等で会話する時に利用し、紙やペンを使わずに筆談が可能となります。

助聴器は、コンパクトな手のひらサイズで、必要な時だけ、本体のスイッチを入れ、耳にあてると音声を拡大します。



筆談器



助聴器

●「日本の森を守る地方銀行有志の会」活動開始

「日本の森を守る地方銀行有志の会」に参加している他の地方銀行とともに、平成21年度の活動計画を策定し、日本の森を守る活動を本格的に開始しました。

「日本の森を守る地方銀行有志の会」は、各地方銀行の森づくり活動の情報をネットワーク化することにより、国土の7割を占める日本の森を守る活動を支援していくことを目的として、平成20年7月に地方銀行の有志が発起行となり発足しました。以降、本会の趣旨に賛同する同志が増え、現時点で地方銀行64行中57行（平成21年5月12日現在）が参加し、平成21年4月から本格的に活動を開始しました。

次世代育成への取組み ～仕事と子育ての両立～

「子育てお母さん応援講座」の開催

千葉県が推進する「女性の再就職支援」事業のなかの一部講座を当行が担当し、「子育てお母さん応援講座」として再就職を目指す県内の女性を対象に、「職場見学」や「従業員との懇談」等を開催しました。職業理解の機会を提供することで、仕事と子育ての両立を希望する県内の女性の再就職を応援しております。

平成21年3月17日 参加者15名



中小企業育成への取組み

千葉元気印企業大賞

平成7年度より当行はフジサンケイビジネスアイ(日本工業新聞社)との共催で、千葉県の活気あふれる中小企業・ベンチャー企業の表彰を通じ、地域企業の一層の発展を目指しております。



障がい者雇用への取組み

「笑顔いっぱい!フレンドリーオフィス」の認定

21年3月、千葉県より「笑顔いっぱい!フレンドリーオフィス」(※1)の認定を受けました。

(※1) 障がいのある人を積極的に雇用し、障がいのある人もない人も共に働きやすい職場づくりに努めている事業所を「笑顔いっぱい!フレンドリーオフィス」として千葉県が認定し、公表しています。認定された事業所における取組内容等の公表を通じて、障がい者雇用の経験のない事業所へ広く普及することにより、障がいのある人の雇用に対する理解と促進を図ることを目的としています。



次世代経営者育成への取組み

ちば興銀「経営塾」

ちば興銀「経営塾」は、地元企業育成支援・次世代経営者育成支援の取組みの一つとして平成16年9月に設立いたしました。幅広い視点で経営を捉えていただくための視察会やセミナーを定期的に開催しております。これまでに100名を超える塾生が学び、昨年10月からは第三期生のプログラムがスタートしました。

最近の活動状況

- 20/10 ちば興銀「経営塾」第三期生・開講式
- 20/10～21/3 戦略的中期経営計画立案セミナー
- 21/1 新春講演会
「～跡取りムスメの体当たり経営計画～
社長が変われば会社が変わる!」
(講師:ホッピービバレッジ株式会社 取締役
副社長 石渡 美奈氏)
- 21/5 地域活性化勉強会(千葉マリンスタジアム)



中小企業へ向けた取組み

「『企業変革』セミナー」「次世代経営研究講座」

地元中小企業のさらなる発展を支援するため「経営品質向上プログラム」を活用して経営革新に取り組む手法を紹介する「企業変革」セミナーを、関東経済産業局委託の地域力連携拠点事業として千葉商工会議所と共同で開催しました。(平成21年1月・柏、5月・千葉、6月・松戸。)

また、実際にプログラムに基づく活動を開始するためのサポート講座(次世代経営研究講座・全12回)を平成21年2月から開催中です。



文化・スポーツ活動

「美しい房総」写真展の開催

美しい郷土・風景をお楽しみいただこうと、JR千葉駅にて、季節にあわせ毎月3点の写真を展示しております。（当行の営業店においても随時展示しております。）



コスモスコンサートの開催

地元の皆さまにクラシック音楽に親しんでいただけるよう、JR千葉駅前広場にて年2回（6月「祝・県民の日」、10月「祝・千葉市民の日」）ミニコンサートを15年連続で開催しております。



ちば興銀コスモスセミナーの開催

「千葉県に関する知識・情報をお客さまと共有する」をコンセプトに、無料公開講座を年2回開催しており、毎回ご好評をいただいております。

第10回は、平成21年3月に「近世利根川水運の発達と常総地方の文化」をテーマに開催し、約100名のお客さまが受講されました。



各種スポーツ大会への協賛

当行主催による「千葉興業銀行杯親善ゲートボール大会」を19年連続で開催しております。県内のゲートボール愛好家60チーム・約400名の方にご参加いただきました。

その他県スポーツ振興財団や千葉県障害者スポーツ大会への協賛を行っております。



社会奉仕活動

小さな親切運動の推進

当行は、35都道府県が参加する全国的組織「小さな親切運動」の千葉県本部および事務局として、県内の運動推進に努めております。「小さな親切」を実行した人に贈る「実行章」は、20年度において県内で3,887名が受章いたしました。（累計30万1千人以上で全国第2位）また、当行行員は全員会員となっており、清掃等のボランティアや寄付・募金活動を実施しております。



地域交流活動へ積極的参加

県下一斉ゴミゼロ運動に行員・スタッフおよびその家族1,097名がボランティア参加しております。

また、国道14号・357号沿線の16企業・団体で組織される「国道をきれいにする会」に参加し、毎月沿道を清掃しております。



交通安全意識を啓蒙

当行と千葉日報社が共同で設立した「コスモス交通安全協力会」より、県内新中学一年生へスポークライト（自転車事故防止反射板）を8,300個（14年間で延べ200,750個）を贈呈しております。

また、県の交通安全推進委員会の安全運動期間におけるポスターの全店掲示および、交通安全リボン（きいろリボン）を全行員・スタッフが着用しております。



寄付活動

行員やお客さまから集めた衣料品を千葉県民間病院協会事務局の柏戸病院へ寄贈しております。

また、全店から集めた古切手・使用済テレホンカード等を、千葉市社会福祉協議会ボランティアセンターへ寄贈し、車椅子購入やボランティア活動資金に利用されております。

その他、当行役職員による募金活動「ともしびの会」より、2月に「さくらちゃんを救う会」へ心臓移植手術の救済として、寄付をいたしました。また毎年、年末には県内の養護施設等へ浄財として、寄付しております。



トピックス

『マリーンズ応援団定期2009』発売! (平成21年4月)

毎年期間限定にて取扱っている恒例の定期預金「マリーンズ応援団定期」の取扱いを開始いたしました。(平成21年8月31日まで。)この定期預金は、千葉ロッテマリーンズの戦績によりお預入れいただいた定期預金の上乗せ金利が決まります。今年で9回目の取扱いとなりますが、毎回、地元球団である千葉ロッテマリーンズを応援する多くのお客さまに大変ご好評をいただいております

※詳細については、「商品概要説明書」(当行ホームページにも掲載)をご覧ください。
※販売期間内でも、募集総額(500億円)に達した場合には販売を中止することがあります。



「指静脈認証ICキャッシュカード」お取扱い中!

キャッシュカードの偽造・盗難被害からお客さまの大切なご預金をお守りするため、平成19年2月より「指静脈認証ICキャッシュカード」の取扱いをいたしております。

「指静脈認証機能付きICキャッシュカード」は、偽造やスキミングが困難なICチップに指静脈情報を登録し、ATM取引時に専用の認証機で暗証番号による認証に加え、指静脈情報を照合して本人の確認を行う、セキュリティの高いカードです。

平成19年5月からは各金融機関の間でIC／生体キャッシュカード相互利用もできるようになり、提携金融機関の指静脈認証対応ATMおよびIC対応ATMでのご利用が可能です。

発行手数料不要および更新手続きも不要になりました。(既にご利用中の「指静脈認証機能付きICキャッシュカード」は、更新手続きなしで引き続きご利用いただけます。)



「地銀住宅ローン共同研究会」への参加

住宅ローンビジネスについては、今後、商品の多様化がさらに進むものと予想されます。住宅ローン商品の共同開発や共同プロモーションの実施、業務の効率化・高度化につながる手法の研究等を行い、お客さまのニーズを重視した付加価値の高い商品を、低コストで地域のお客さまに広く提供するため平成20年5月1日に設立された「地銀住宅ローン共同研究会」に参加しました。

「地銀住宅ローン共同研究会」企画商品

女性専用住宅ローン、『ゆとりーな』取扱い開始! (平成20年10月)

福利厚生専門会社である、株式会社リラックス・コミュニケーションズが提供する非金融サービス「Club Off」の各種特典が付帯された女性専用の住宅ローンのお取扱いを開始いたしました。住宅の新築・購入・増改築、他金融機関からの借換え資金などにご利用になれる、この住宅ローンの具体的な特典として、家事代行、育児・介護サービスや健康をはじめとした毎日の安心と、国内外のリゾートや温泉施設、レジャー、スポーツなどの充実の時間を、優待価格で利用できるライフサポートサービス「Club Off for ゆとりーな」を、住宅ローンのお借入れから5年間、ご利用になれます。

※詳細については、「商品概要説明書」(当行ホームページにも掲載)をご覧ください。



「地銀住宅ローン共同研究会」企画サービス

住宅ローン利用者向けサービス「ホップ・ステップ・住まいる」の取扱い開始! (平成21年1月)

このサービスは、株式会社リラックス・コミュニケーションズが提供するライフサポートサービス「Club Off」の各種特典が付帯されたサービスで、当行で住宅ローンをご利用いただいているお客さまにご提供するものです。

お借り入れになるお客さまはもちろん、そのご家族にとってもメリットがある特典として、ホテルやリゾート施設の優待のほか、育児や介護、教育などが優待価格で利用できる「Club Off for ホップ・ステップ・住まいる」を、原則として住宅ローンのお借り入れが終わるまで、ご利用になれます。

また、その他の特典として、ちば興銀のカードローン「リリーフ」をご新規でお申込みになる場合、基準金利より1.0%の割引をさせていただきます。

※詳細については、「商品概要説明書」(当行ホームページにも掲載)をご覧ください。





〒261-0001 千葉県美浜区幸町二丁目1番2号

TEL.043-243-2111

<http://www.chibakogyo-bank.co.jp/>



このミニディスクロージャー誌は環境に配慮した
植物性大豆油インキを使用しています。